



ハンリム
韓国・翰林大学ホームステイ(2月5日~14日)



韓国の国花・ムクゲの記念植樹



小・中学生が最も行きたいと思っている国はアメリカ

国際交流意識調査より

少いアジアへの感心

今や国際化は、国民の身近な問題であり、小・中学校においても学校教育の重要な柱として位置づけ、その推進に力を入れているところである。

今回の『国際交流についての意識調査』は、小・中学生が国際交流についての様子を尋ねて、西伯小5・6年生、法勝寺中1・3年生、計25名を対象に調査したものである。

小・中学生が行きたいと思っている国の第1位はアメリカで、回答者の半分以上の生徒がアメリカと答えている。第2位がフランス、第3位オーストラリア、以下イタリア・イギリス・ドイツと続き、子どもたちも私たちおとなと同じように、アメリカ・ヨーロッパへの志向が強いことがよく分かる。

結果を見て残念に思うことは、アジアの国々に眼を向けている者が大変少なく、アジアの国を挙げた者は全体の9%しかいなかったことである。特に、隣国の韓国を挙げたものは僅か0.8%であった。ただし、この数値は1年半前のものであり、許敬七さんが国際交流員として来町された現在では、この数値はもっと高くなっていると考えられる。



アンテンブルグ少年合唱団との交流

いるものと思われる。

観光・買い物・大人の気持反映

次に、『あなたは、どの国の人と友だちになりたいですか?』という質問では、第1位はアメリカで、以下フランス・イタリア・オーストラリアの順であった。ここでもアジアの国に対する関心は大幅低く、中国は6位、韓国は14位であった。

また、『あなたは、外国に行つてどんなことをしたいですか?』という質問では、第1位が『観光地をめぐる』、2位は『買い物』、3位は『友達とつくりたい』、4位は『おいしいものが食べたい』であった。観光・買い物・食べることと回答した者が70%を占め、私たちおとなの海外旅行の実態がそのまま子どもに反映していることがわかる。『モノ・カネ』の交流から『ヒト・ココロ』の交流へと転換する必要があるというところを、これらの子どもたちの実態をみて、私たちは反省しなければならぬ。

若い世代の気質の変化も

そのほか、『道で外国の人を見かけたら、あなたはどのようにしますか?』という質問では、

「ちらつとみる」「とくに気にしない」というのが最も多く、無責任・無関心・無感動の三無主義の片鱗が見られる反面、『外国の人に話しかけられたらどうしますか?』という質問では「話をきいてみる」と回答した者が最も多く、私たちおとなにはない『ものおじをしない』傾向や『何事にもチャレンジする』傾向が見られ、日本人の気質も少しずつ変わってきたことがわかる。

以上、西伯町の小・中学生の国際交流についての意識調査の結果を要約して述べた。わが西伯町では、韓国ハンリム大学生の10日間にもわたるホームステイや、オハイオ州立大学生のホームステイ等々、国際交流が頻繁に行われるようになり、町民の国際交流に対する理解や関心は年々深まりを見せてきている。

狭くなった世界で各国間の相互依存性が強まってきた今日、私たちは国際交流において異文化をただ知ることだけに終わることなく、国際社会における日本の役割について日本はいったい今、世界に何を貢献することができているのか深く考えてみる必要があるのではないだろうか。
(法勝寺中学校長 河本曉男)

あとがき

西伯町民の翼での訪韓と韓国より国際交流員招致を記念し行なった韓国国花「繡」の植樹を多数の方々にご参加いただきましたが、その様子を紙面の都合で、掲載出来ないのが残念です。

豪雪で根付きを心配しましたが、現在ほぼ全部芽を出し夏には友好の花が咲きます。一年六ヶ月国際交流?に取り組んできましたが、国際交流「は色々の言われ方、また色々な内容があり、その中で共通していることは自分を変え、自分にあることです。これは交流相手の文化や習慣に同化することではなく、自分自身を研鑽向上することだと強く感じたこのごろです。(俊)

募集

西伯町国際交流協会員

- 外国の方たちとの交流会、海外の文化などの学習他
- 年会費 2,000円
- お申込み、お問い合わせは 西伯町役場・企画開発課へ (TEL 66-3111)

近くて遠い国

西伯町民の翼
陶山

町制施行四十周年を記念し、日韓交流の旅に参加した私共五十八名は、米子空港を飛び立ち僅か七十分でソウル金浦空港に着陸した。昭和五十二年文部省派遣欧米一ヶ月の視察研修以来、実に十八年ぶりの外国訪問で、アンカレッジ経由で十六時間もかかってオランダに入国したことを思いだす。それにしても韓国は近くで遠い国だったと痛感した。テレビの映像の影響も大で空港周辺、バスの車窓から見たソウル市内、郊外の風景等とくに奇異に感ずることもなく十八年前のアムステルダムでの異国情緒とは違って、まるで近頃の町を訪れたような親近感で一杯であった。

三泊四日の短い旅程ではあったが、精力的に交流のための各機関を訪問し、江原道副知事、女性会館々長、春川市副市長、ハンリム大学々部長等と懇談する機会を得、相互に理解することが出来たことはまことに意義深いことであ

った。初日の夜開かれたレセプションには、国際交流協会、大学、新聞記者等の関係者、それにキヨンチルさんのご両

驚異的な高度経済成長で生活水準を高めた韓国、世界有数の大都市、一、二〇〇万のソウルは発展したが、その反面過疎化現象は進み、その上高



翰林大学にて

交流

人

ピーター・ナイ
トさん（法勝寺
中学校英語指導
助手）の歓迎会
をホームステイ
先の、東町大石
繁人さん宅の近所のみなさん
が各家庭の手作り料理を一品
づつ持ち寄り開催されました。



保育園で園児と交流

アンニョンハシムニカ

今日は！韓国ハンリム大学
生二四名が来町、ホームステ
ーをしながら日本の文化を学
んだり、保育園児・小・中学
生と交流を深めました。歓迎

会の席上で、このような友好が続けば、竹島の紛争も自然と解決するだろうと学生の言葉が印象的でした。

文
化

ことぶきの船、書道交流に
参加の小谷三樹之助さんに贈
られた、韓国の書家の作品。

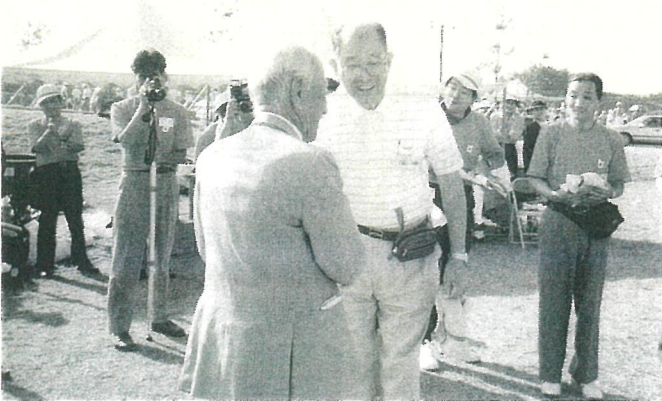


食文化

マッシュイッタ
おいしい！



中央公民館・東西町公民館
・天津公民館で韓国の代表的な料理キムチ・ビビンバを金貞子さん・食の文化を許敬七さんを講師に韓国料理教室を開催、好評でした。



江陵市で開催されたペタンク交流で優勝の保崎さん
韓国参加者の最高齢者と、お互いの健闘を称え！

スポーツ



中国北京市の小学校から西伯小学校に
送られた画

新しい出会い

青少年洋上セミナー

秦佐輝香

「輝け海よ陸よ若き仲間たちよ！」をテーマに青少年洋上国際セミナーが七月十日か

友好訪問

環日本海国土軸計画を推進する鳥取県主催の韓国友好交流事業で、西伯町からことぶきの船12名・青少年国際洋上セミナー11名・ことぶきの翼1名訪韓し、それぞれの分野で交流を深められました。西伯町単独で企画した、町民の翼でも58名が韓国春川市を友好訪問しました。その感想文の一部を紹介致します。

齡化と個人所得の格差は、古き
 伝統と近代化との調和に悩む
 この国の最大の問題でもあら
 う。ことは風俗は違っても共
 通の悩みや課題を持つ両国、今
 回の交流を契機に過去の歴史
 を正しく理解し、二十一世紀
 に向けて共存共栄の実をあげ
 るべく一層の努力をしたいも
 のである。(西伯町国際交流協会会長)



一生の思い出ができた洋上セミナー

く知っていることです。

両国から質問をしました。

私たちは手を挙げる人がいなくなったら失礼になるからとちやんと決めて行きました。

韓国の人たちは、積極的に手を挙げたりしていました。

私たちとは、同じ中学生でもぜんぜんちがうんだなあ、と思いました。

あとびっくりしたことは、英語がとてもうまかったことです。会話がちゃんとできて、発音もうまくて英語バ

ら十七日まで行われ、**韓国**の
国の文化、歴史、レクレーシヨ
ンをしたりして交流を行ない
ました。

私は北坪女子中学校へ行き
ました。そして感じたことは
韓国の人は、歴史のことをよ

ラペラでした。でも、身ぶりができ、北坪中学校の人たちと住所を教え合った。

また船の中でも交流会が開かれた。最初は、友達もちょっとだったけど交流会で班の全員と仲良くなった。

全員と仲良くなつた。

そして、どんどん広げていって東部中部西部の人たちと仲良くなつていった。みんないい人たちで大人も子供も関係なくさわぎ会つたりした。

そしてセミナリーのラストを飾る洋上祭では、各班の趣向を凝らした出し物がずらり、コントや韓国語での合唱、ダンスなどが次々と披露され文化祭以上に盛り上がった。肩を組み合わせ声高らかに歌ったテーマソングは一生忘れないと思う。そしてさよならパーティーでいままでの思い出が思い出されて涙を流す人もいました。そして、朝になり、Tシャツとかノートとかにメッセージとかを書いてわかれをおしめました。

ぜったいにこの思い出は一生忘れないと思いました。

いい思い出をありがとうございました。

ぜつたいにこの思い出は一生忘れないと思いました。
いい思い出をありがとうございました。

善隣友好

1997年3月 No. 2

〒683-03
鳥取県西伯郡西伯町大字法勝寺377-1
西伯町役場企画課内 ☎66-3111



景福宮にて



ホームステイ先の全恵美のファミリーと

心暖まる、出会いに感激！もう一度行きたい……
西伯町青少年訪韓研修（8年7月31日～8月7日）



歓迎 日本国鳥取県西伯町青少年 翰林大 訪問

地域での交流



ハロー！
ホームステイで来町のオハイオ州立大学生の歓迎会をホストファミリー！
協会会員が多数参加し開催、餅つき、学生の余興もあり、楽しい、交流会の一時でした。



国際交流パーティー
翰林大学のみなさん
ハンリム大学生のホームステイに合わせて行なうパーティー、今回は、今年
は青少年訪韓研修の中・高校生とサッカー親善試合で訪韓の町内小学生の壮行会も兼ねて開催。



鶴寿大学健康づくり料理クラブの皆さんの手作り料理で学生と昼食会、オイシカタ料理の作り方をメモする学生もいました。



ハンリム大学生のホームステイ・ホスト東町・桑名・勇さん・遠藤 明さんの近所の皆さんが、手作り料理を持ち寄り、歓迎ストリート・パーティー。



再会！

中国より来町のアクロKの研修生、居住地（東町）の行事に積極的に参加し、皆さんに親しまれていました
が一年半の研修を終え帰国されました、地区の有志で送別会が開催されました。
続く交流・深まる交流！



一部ではあるが、夏休みに来町する学生もあり、まさに、親戚付き合い。
十月四日には、十一名のホストの皆さんが韓国を訪れ学生と再会、その家族とも交流を深められました。



餃子づくりで交流

東長田公民館では、数年前から行なわれている国際交流事業で、今回は鳥大医学部大学院に留学中の紀さん・驢さん・王さんを講師に餃子をつくり、試食をしながら交流を行いました。
学びました！
韓国の言葉・歌・食文化！
上長田公民館の韓国料理教室。



外国語ショートスピーチコンテスト開催
中学生から六十代の二十一名のスピーカーが英語・中国語・韓国語で熱演。

募集

西伯町国際交流協会員
●外国の方たちとの交流会、海外の文化などの学習他
●年会費 2,000円
●お申込み、お問い合わせは西伯町役場・企画開発課へ（TEL 66-3111）

辛心（あとがき）

①を大きく見開き「虫の目から鳥の目」へ「夢みなと博」を機に躍動する還日本海時代となります。
②を澄ませば英語、韓国、中国語が身近に聞こえるようになりました。
間もなくお金が世界どこでも自由に使えるようになる大変革が始まるでしょう。
③を使つての積極的な参加・実践活動は今すぐ小・中学校や公民館事業の中にとり入れないと取り残されてしまいます。
さあ、先ずはすばらしい国際交流員と親しく語り合いながら学び、少なくとも五年先にはわが西伯町から国際交流員を誕生させましょう。
이사무（いさむ）

交流員さんの近況

西伯町で、はじめての国際交流員として来町し、町民に国際化の意識を広め国際交流のきっかけをつくってくれた、ローリーさん・交流の中と内容充実し活躍してくれた、敬七さんから近況が届きました。



お母さんと共に

西伯町を出て大阪に来てからは、もう二年になります。西伯町、そして町民の皆様は今でも心の中にあるような気がします。

この二年間は、兵庫県の西宮市にある大手前女子大学の国際交流室で勤務させていただいています。仕事は、文書の翻訳も、留学や語学の相談もするし、そして年に二、三回ぐらゐは海外研修の引率として、オーストラリア・カナダ・アメリカ等に行かせていただいています。海外に行くのは楽しくてとてもいい経験をさせていただいています。

学生の面倒を見るのはちょっと大変です。今年の三月にも、オーストラリアのシドニー周辺に十八人の学生と一緒に行く予定ですが、やっぱり、少し緊張しています。

これからの予定を言いますと、実は、今年の七月には、とうとうアメリカに帰国することになりました。英日翻訳を勉強するために、カルフォルニア州にある大学院に入学し、二年間日本語の研究を続けるつもりです。日本を離れるのは本当に悲しく思っていますが、日本に関する勉強が出来ることは日本、そして日本にいる友達との縁がまだ切れない印と思います。というわけで、皆様、これからも宜しくお願いがいたします！
追伸：私はまだ独身です。アメリカでいい男を探しています。

平成九年二月
ローリー・ヒッチコック

西伯町の皆様こんにちは。韓国に帰って来て、もう一年ちかくなっています。その間は結婚して、すっかりオバサンになっています。予

ホストファミリー

ひとこと集

米国オハイオ州立大学・韓国ハンリム大学生のホームステイのホストの皆さんが、反省会で述べられた感想です。

○ 十日間。始めは長いと感じた、終わってみれば長いようで短かった。しかし女性は大変だった。

○ 娘を持ったような気がして嬉しかった。ホームステイに感謝。

○ 生活の中にアクセントを与えて貰った。一つのことをやり遂げた満足感があり自分の視野も広がった。

○ 受け入れ前は、家は古く共働きで難しいのではと思ったが、十日間全く苦にならなかった。地区の子供達にも協力してもらい歓迎会も開いた。十日間ですっかり情が移ってしまった。

○ 日本語の伝える力、どうすれば伝わるか難しかった。ありのままの生活をさせたいと思った。家族の協力もありよかった。

○ 菜食主義と聞いていたので困ったが、何でも食べて

くれた。



○ 昼は研修、夜は子供の相手で全然休むところが無かったかもしれない。次回も協力したい。

○ 最初は心配だった。韓国の文化の勉強をさせてもらった。お客さん扱いはしなかった。学生も最初は食事等に苦労したようだが、だんだん慣れてきたようだ。



○ 言葉に困った(方言、標



御主人と共に

定どおりなら今年の十月にお母さんにもなります。たった十ヶ月間で、私の人生にはかなり変化があり、悩みがありました。

慣れない家事を毎日することも、結構なストレスだったし、仕事が見つからなくてこの社会に自分の立つ場がないという事実が気づく絶望的なこともありました。その上、実家の父母に色々問題が起って、長い間心を悩まされていました。

しかし、いくら辛いことがあっても時はたち、物は変わることで、悪いことがあれば、良いこともあるのでしようね、目指していた大学院に合格し、この春からは大学院生として、本格的に日本語教育を勉強することになりました。仕事も何とかできて、日本語講師として一日一時間ずつ韓国銀行に出講しています。主人もかわりなく健康で誠実に自分の

準語)。でもだんだん伝わってきた。日本料理(さしみ、てんぷら)初めてみたいだった。家族すくなかったが女三人で話し合ったりしてよかった。

○ 自分は北朝鮮に生まれたことなどもあり、引き受けようと思った。地域の方にも協力してもらい近所の結婚式にも参加したりして、よかった。



○ 仕事があり、夜寝る前しか話すときがなかった。ちよっとほったらかしにしたかなと思った。町の研修、行事で町の若者と交流する場がなく、そういうのがあれば、もっと良かったのでは。

○ 身上書を見てきれいな方だと思ひ張り切った。何で

職に励んでいます。

大きな夢はないけれど、いつも私の周りの皆が健康で楽しければ、それこそ、幸せだろうと思っています。

去年の三月西伯町を離れる

際に、皆さんから色んなプレゼントを頂き、ありがたうございました。結婚のお祝いだとか、一年間の付き合いの印だとか、頂いてばかりで、恐れ入りました。たまたま別れの言葉を書いたお手紙もありまして、読んで心を打たれたことがたくさんあります。その中でこういう手紙がありました。「西伯町の生活で良かったこと又、悪かったこと、嫌なこと色々あったと思います。長い人生の一コマとして胸に秘めて、これから歩んで行く人生に役立つことがあれば幸いです。世界が平和であるために国際交流は大切だと思います。亀尾孝継議員さんのお手紙で、読んでだいび泣いた覚えがあります。西伯町での一年は長い人生の一コマに違いなかったですが、大事な一コマでした。今でも私は人が憎くなる時や世間の厳しさに疲れた時に、西伯町のことを思



も食べてくれ緊張もほぐれ心の通う交流だった。



ホームステイで、新しい出会いは人生の宝！

七月九日(十八日の十日間、ハンリム大学生のホストファミリーと韓国での青少年研修参加者(七月末の予定)を募集しています。

い出します。皆の私に対した愛情のことや西伯町の緑、子供たちの笑顔、家族のような青砥家の皆のことを思い出しているといつの間にか、もっと元気が出て来るのです。西伯町は我がふるさとであり……
許敬七



アンニョンハセヨ

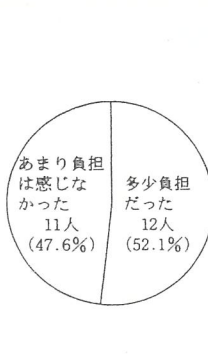
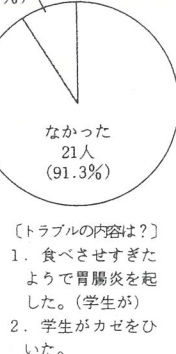
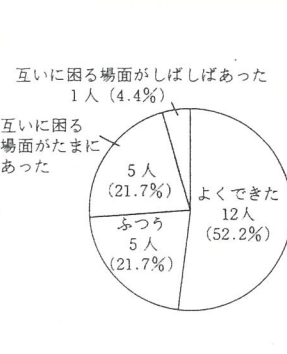
もう春ですね、三番目の国際交流員のヒョンジュです。西伯町に来てからもう一年になります。きれいな町で、皆さんに親切にしてもらい楽しく元気に仕事をしています。ローリーさんやキョンチルさんのお姉ちゃん先輩のように私も西伯町でがんばります。応援して下さい。

金玄珠

ホストファミリー

アンケート(二十三世帯)

質問1 互いの話は十分理解できましたか。





「西伯町の日」に出演・・・夢みなと博
広がる交流。深まる交流。

地域での交流

ニイハオ！



中国より
エレットク
鳥取KKの研
修生として
来日し、西
伯町で生活
しています。
す。会社の
仕事以外
に、日本の文化も学びたいと
思います。

運動会や、文化祭にも参加
しました。楽しかったです。

玄珠さん
マギーさん大活躍



東西町運
動会で各種
競技に参加
し、地区の
皆さんと交
流。

国際交流パーティー



恒例にな
ったハンリ
ム大学生の
ホームステ
イに合わせ
て行うパー
ティー、今



回は青少年訪韓研修参加者、
サッカー親善試合で訪韓する
町内小学生の壮行会を兼ねて
開催しました。

また、米子高校の招聘で来
日し町内生田公良さん宅でホ
ームステイ中のセント・アク
アイナス高校のエリック君も
参加し、会場で行った餅つき
がめずらしそうでした。

ベタンクで交流

ハンリム大学生・グラウン
ドゴルフ協会会員・交流協会
会員がベタンクで交流。



玄珠さんの異文化理解教室 (主なもの)



▲キムチづくりで 一鴨部公民館一



▲韓国の代表的な料理ビビンバづく
りで東長田公民館婦人部



▲韓国の食文化教室で大園地区の皆
さんと



▲キムチづくり馬場料理教室で



▲ちまきづくり一江原のみなさんと

募集

西伯町国際交流協会会員
● 外国の方たちと交流会、
海外の文化などの学習他
● 年会費 2,000円
● お申し込み、お問い合わせは
西伯町役場
企画開発課へ
☎66-3111

あとがき

● アンニョンハセヨ
(安寧でいらつしやい
ますか)

● ニーハオ (今日はと
てもすばらしい)

どちらか「こんに
ちは」と同じあいさ
つですが、とても温
かく親しきを感じま
せんか。

相手、とりわけ異
文化で育った人々を
理解するには言葉を
知ることと共に心か
ら接することです。

私達が日常使って
いる言葉の中に「あ
いまい」で相手に通
じ難いものがあり
あることが教室に出
席することに分かっ
てきます。

本町の国際交流員
の地域に根ざした活
動はすばらしいもの
です。

感動の「夢みなと
博」が着々と実を結
ぶよう一年を振りか
えり新たな発展を願
つて。

ユン(男)



本場のプルコギおいしかった



いよいよ韓国へ出発です



ハンリム大学で記念撮影

青少年訪韓研修で異文化を学ぶ 21世紀を担う、さわやかな若者！

第2回青少年訪韓研修に、中学生4・高校生2・一般青年1、計6名参加し、ハンリム大学生の各家庭に、ホームステイをしながら異文化を学んだり、多くの人々と交流を深めました。



東洋一のダム、昭陽江で



ロッテワールドで

訪韓アンケートより

●ホームステイ日程中、一番有意義なプログラムは一般家庭にお世話になったこと・ハンリム大学生と名所、旧跡を見たこと・ハンリム大学を見学したこと
●韓国での生活で不便だった点は
シャワーの使い方・言葉が

●韓国でいけないところとおもったこと
交通マナー
●自分が感じた韓国と日本の文化の類似点や相違点は
類似点―食物や古い建物、米を食べる、古くからの習慣
●相違点―帰宅時間が遅い、食事の習慣・入浴方法がちがう・小さなことを気にしない人間性・辛いものを好む食文化
●ホームステイを通じてあなたが得たものは
人々の心のあたたかさ・海外に友達ができた・韓国語が少し話せるようになった・人々の生き方は国によって違う・韓国への親近感

小学生から高年齢者まで28名が熱演！ 第2回外国語（英語・中国語・韓国語）スピーチコンテスト



韓国語教室のみなさん



紀先生と月バラが咲いた中国語教室のみなさん



桃太郎の寸劇・英会話教室のみなさん



コンテスト終了後の懇談会

募集

英語はもちろん、さらにもう一つの外国語の修得を要する時代がやってきました！



英会話教室
毎週木曜日 PM 7:30
場所 西伯町中央公民館
費用 1回400円
講師 マギー・ギヤラス
(法中英語指導助手)
申し込み 西伯町中央公民館
電話 66-3121



中国語会話教室
毎週水曜日 PM 7:00
場所 西伯町中央公民館
費用 月2,000円
講師 張 海弟
(鳥大医学部留学生)
申し込み 西伯町役場企画課
電話 66-3111



韓国語会話教室
毎週火曜日 PM 7:00
場所 西伯町中央公民館
費用 月2,000円
講師 金 玄珠
(国際交流員)
申し込み 西伯町役場企画課
電話 66-3111



善隣友好

1999年3月

No. 4

☎683-0351

鳥取県西伯郡西伯町大字法勝寺377-1

西伯町役場企画政策課内 ☎66-3111



西伯町＆西伯町出身者で海外で活躍されて、その実績を高く評価されている人、将来を期待されている人たちがです……

「ベルリンでぷらぷら」の著者



市原千絵さん（東町出身）

ライフスタイルが話題を呼んだ！

ザビエル大学で日本語学科

設立し教壇に立つ

60才・米国で博士号

小川彩子さん（鴨部出身）



生涯学習そのもの……

アメリカで高校生活

鴨部の山崎久未さん

協会主催で毎年行っている、外国語スピーチ発表会で（当時法勝寺中学三年生）発表の前「私は高校に入学したら米国の高校に留学します。」と力強く抱負を述べ、流暢な英語で発表してくれた久未さん。

その言葉どおり三年生の秋、米国公立高校交換留学試験にみごと合格し、現在アリゾナ州でダニエル＆サマンサ夫妻宅にホームステイをし、ペー



ハリウッドで、ハリーの前でサマンサさん（右）と。

米国への留学を小学校高学年の頃から決意し、努力を重ね、その第一歩が実現したものです。

地域の交流

縁結びの神・出雲大社でホームステイで来町のオハイオ州立大学生と英会話教室の皆さんが交流。



縁結びの神、出雲大社で

小学校も

国際交流



中国ではよくギョーザを作るんですよ。



ニーハオ!! (中国でのこんにちは) 谷さん、中国本場の太極拳披露。



ジャンボ!! (ケニアでのこんにちは) クリアさん、ケニアのトウモロコシ収穫のおどりを披露。



6年生と社会科の学習で交流。「ケニアはここです。」ジャンボ!!

これからの国際交流を求めて

―北京民族学校訪問―

民族学校でのひとコマ。



平成10年12月6日から10日

まで新しい国際交流の可能性を求めて中華人民共和国に西伯町中国訪問調査団（総勢12名）を組織し訪中してきました。北京では氷点下10℃という気温の中、自治体国際化協会の北京事務所を敬訪問し、これからの中国との交流を講義していただきました。また、中日友好病院を訪れ薬膳、漢方、針などの動向について詳しく説明を受けました。

メインは、北京市朝陽区長菅回民族郷との交流を検討す

ることで、学校、行政、議会等の交流の可能性について現地で協議してきました。中国は日本のようにひとつの民族国家ではなく、多くの民族が共存する多民族国家です。そのため、今回の調査地は回民族（いわゆるイスラム教信者の多い民族区）の自治体でした。また、平成11年度中には今度は中国の方から西伯町に調査団が来町することになりました。

写真は、民族学校（1年）から9年生までの風景です。民族学校では伝統音楽、体育活動、科学技術活動、コンピュータ学習等に特に力を注いでいるようでした。次世紀を担う子どもたちの交流の手伝いができれば、戦争のない平和な社会をつくることできると思います。国際交流の最終的な目標は世界の平和に寄与することだと思います。

あとがき

外国語スピーチ大会に英会話サークルも参加し、「テレビ西伯英語放送」を行った。参加するにあたり、原稿を分担して書き、コーン・シヤルや歌を入れ練習する内に、絵が必要な場面も分かり、追加で絵を画いて頂いたこともあった。ボードを掲げて歌を歌う人、アナウンサーの後に絵を掲げる人等々で大勢の人手を必要とした。中学生の英会話サークルに応援してもらってやっと発表会にこぎつけた。また、発表会場で練習をしておく必要があり、寒い夜おおくに田園スクラン行ったこともあった。わずかな発表であつたけれども人に理解してもらええる伝え方の難しさを感じた。絵を書いて下さった方、中学生の皆さんありがとうございました。(katsumi)

募集

西伯町国際交流協会員

- 外国の方たちとの交流会、海外の文化などの学習他
- 年会費 2,000円
- お申込み、お問い合わせは 西伯町役場・企画政策課へ (TEL 66-3111)

カムサハムニダ

金玄珠さん



一九九六年四月に韓国から国際交流員として来町し、三年間にわたって韓国との交流はもとより、国際化の町づくりに大きく貢献してくれました。ありがとうございます!!

出会いと感動をありがとう

西伯町に吹いた 韓国の風



皆さんお元気ですか。私は西伯町に来てからまる三年で仕事の任期が終わり、三月二十日に帰国します。あつという間に三年が経ってしまいました。最初、日本へ来るときには不安な気持ちもありましたが、それより違った国での生活も楽しそうな気がしました。ところが、来てみるとやはり韓国とは生活や習慣や考え方も違い少し戸惑いもありましたが、あまりよくよくしない性格のせいであまりよく過ごせるようになりました。

国際交流に対する専門知識も何もなく、ただ日本語が話せる関係がないかと思ってたのに、交流員として来てから国際交流が私の生活の全てになってしまいました。国際交流という言葉

西伯町のみなさん

ありがとう

金玄珠

さんの周りにも外国人の姿や彼らとの交流もだんだんと増えて来ていると思います。そういう機会を通して少しず

つ自分の気持ちや考えを聞いて見るのもいいでしょう。両方の生活文化の側面を知り、いろいろな人との会話などを通して彼らの考え方、価値観を知るよい機会だしお互いを分かり合えるチャンスだと思います。そう言うのが国際交流ではないかと思っています。大事なことは心です。西伯町での三年間は私にとって大切な経験であり、また人生の勉強にもなりました。韓国へ帰っても西伯町のことは忘れられないでしょう。本当にいろいろお世話になりました。



▲西部落でのキムチ作り講習会



▲小学校秋の運動会で西伯音頭をおどりました。



▲緑水湖マラソンで選手宣誓



▲小学校国際理解クラブでの交流。衣(異)文化体験



▲食文化理解教室 キムチ・ビビンバ作りで記念撮影

西伯町からパリを訪れる方へ



写真提供「パリ日本文化会館東京事務局」

九九年一〇月、オリンピック開催前年のシドニーへ。オリンピック男女マラソンやヨットの背景で記憶のとおりシドニー観光の象徴はベネロン岬の先端に建ち並ぶ白い貝殻イメージの優雅なオペラハウス。この建物は一九五六年の設計コンペ作品、強い海風に耐えさせる為の設計変更、建築費の大

膨張、工期の大幅延長等でトラブル、最初の設計者ウツソンは怒り、仕事を辞してデスマークに帰国したという。志半ばにして大事業に別れた建築家の苦悩に思うところがあった。

八二年、時の鈴木善幸総理と仏ミッテラン大統領、パリに日仏文化会館建設を約束、土地はセーヌ河畔一等地に仏国提供、建設費は日本持ち。

八九年、日仏文化会館設計は仏国が日仏に向けてユネスコ、応募四五三件の中から郷土法勝寺中学第二四期の秀才建築家山中昌之君（京大大学院卒）が、英国人建築家アームストロングと共に見事一位入選の輝かしい偉業を達成した世界に誇るべき出来事があった。

九〇年、ロンドンで山中君に会い、パリの建設予定地で設計図による完成イメージと周辺景観との調和の素晴らしさを確かめ、作品の一位入選むべなるかなの思いを深くしながらも「一抹の不安を残す難問あり」と聞いて帰国した。

好事魔多し、この計画も山中君の卓越した設計技術に関わりのない、当時の世界同時不況の進行・資金難と外交上のトラブルが重なり、その解決に政財界の有力

な諸先生方の力強いご支援も頂き、経団連・財界・外務省と日英仏間を文字とおり奔走西走、心血を注ぎ続けたがついに中断、帰国を余儀なくされた。

九四年、幸運なパリ再訪の旅。ホテルのロビーでふと目にした懐かしい日本語新聞パリ便り、奇遇にも日仏文化会館記事が載っていた。パリ市が建設許可、日本政府が外務省・国際交流基金を通じて建設費全額支出決定、本年着工、完成予定九六年、名称も日本文化会館となり、初代館長は元ミスターNHK磯村尚徳等々。

開館には山中君も招待出席の榮に浴したと聞いた。欧州の国際交流、日本文化情報発信センターとしてマスコミに話題を提供し続けている。セーヌの畔、左岸のエッフェル塔から歩いて数分メートル下流の左手に建つ総ガラス張り六階円筒型のビルがそれ。設計者山中君の同郷人となつて、館長を囲む写真を撮って帰り、国際交流と山中君の偉業を法中生や郷土の人に広く伝え、後に続く若い諸君が発奮し世界に雄飛されるよう鼓舞して頂きたいのです。

世界の人々と
手を携え環境
保全を...



協会では、平和や地球環境保全を世界中の人々と共に考え、守ることを国際交流の目的の一つとしています。

今回、町の環境保全で活躍された「クリーンライフ西伯」の皆さんと共に、世界で最も環境保全対策が進んでいると言われる、ドイツの現状について、鳥取県国際交流員ラルス・キーパーさんに講演していただきました。

予防・汚染者負担・協力の基本原則（憲法で定められている）、空気の清浄維持・廃棄物処理、太陽エネルギーの使用等々取り組みやその成果を流暢な日本語で話され、解りやすく学ぶべきことが多くありました。



3年生の国語で
キムエーランさんと交流



コレットさんのアイデアで
もりあがったクリスマスパーティー



今年も1年生が
マルシェフさんと交流

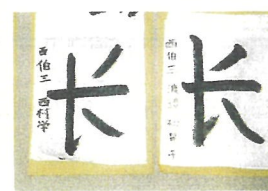
西伯
小学校



オハイオ大学のみなさんと交流

すてきな国際人をめざしています

～1年生から国際感覚を～



張さんに教えてもらった
中国の漢字



コレットさんに
教えてもらった
イギリスのすご
ろく

募 集

西伯町国際交流協会員

- 外国の方たちとの交流会、海外の文化などの学習他
- 年会費 2,000 円
- お申込み、お問い合わせは 西伯町役場・企画政策課へ (TEL 66-3111)

ご協力ありがとうございました

(1 円玉募金)

2,100 円

小学校から
ユニセフ協会に
寄贈しました。



6年生の社会で中国・イギリス
を語ってもらう。二人の夢もすてき！



ハンリム大学のみなさん
と交流

あとがき

県外に住んでいる子ども達に、毎日の様にeメールを送っています。『こちらは、今朝から大雪です』とか、『夕べは寒かったから、カニすきをしたよ』とか、たわいもない事ばかりですが、子ども達からも短いメールが届き元気づいて安心します。

2年前にアメリカに帰られた英会話の先生からも先日『この夏結婚します！彼はとてもすてきな人です』なんてメールが入っていました。『うちまで幸せになりました。辞書を引き引き、悪戦苦闘して返事を送るのも楽しいものです。』

仕事から帰ってメールをチェックするのが日課になりました。

私はまだ、若いつもりですし、行きたい所にも出かけられますが、20年30年後、足腰が弱ってしまい、思う様に外出できなくなつた時こそeメールや、インターネットで外の世界とつながっていたいものだと思っています。

4月から中央公民館でもパソコン教室が始まります。

遠くに住むお孫さんとeメールのやりとりを始めてみませんか？ (Ha)

第5回外国語スピーチ大会



英語

ノースイングランドのポエムに挑戦しました。



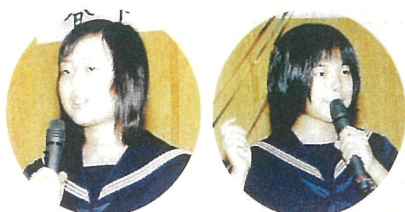
中国語

研修生、実践会話で会場を沸かせました。



韓国語

最多出場の中田さん、韓国語も堂に入ったものです。



ジェスチャーたっぷりの見事なスピーチぶり。将来が楽しみです。



地球丸かじりクラブ今年も参加、カーペンターズの歌「sing a song」に挑戦会場を盛り上げました。

春節を祝う会



「正月」と言う、中国では旧正月を指していて、「春節」と言う。春節の祝いは、旧暦の大晦日から始まり、爆竹を鳴らしたり、酒を飲んだり、餃子を食べたりして、新年を迎える。

張さんからのコメント 春節の料理



熱心に聞き入る会場の皆さん。

日本の四季はそれぞれとても美しいですが春を愛する人は心清き人、冬を愛する人は心広き人と歌があるように、私は日本の冬の雪景色と春の桜が大好きになりました。
すぐあざやかな春が来ます。この日々に移り変わる自然のように一層がんばることを誓い、皆様のご健勝をお祈りします。

私はトリカの中国人技術実習生の蔡です。
今日西伯町国際交流協会主催のスピーチ大会、春節を祝う会に参加できて、とてもうれしいです。皆さんに心からお礼を申し上げます。
「光陰矢の如し」、春、冬、また春、あつという間に私は日本で二回目の春を迎えました。今迄の一年半の在日生活を振り返ってみれば、親に甘えてばかりだった私が一人で外国で生活することは本当に大変なことです。在日での仕事と生活のなかには苦しみと甘えがまじっています。幸いなのは大多数の日本人はやさしくて暖かいご配慮と、援助をもらい楽しく暮らすことができました。この場を借りてお礼を申し上げます。これからも宜しくお願いします。



蔡婧婧
西伯町に来て

中国からの研修生日本語でスピーチ

西伯町と中国の小・中学生の交流について

教育長 井上 肇

本町の小・中学校と北京市民族学校との交流は、島根大学に
関係の深い中国の中央民族大
学教授胡振華先生の紹介によ
り、平成十年十二月に友好交
流調査のため北京市民族学校を
訪問し、児童、生徒達の作品交
換を行ったことに始まります。
平成十一年には、長営回民族
郷から郷長並びに各界の代表
の方々による訪問団をお受け
し、本町の現状を視察して頂
き、交流に向けての相互理解を
深めました。

この二年間の相互訪問を通
じ、今後の交流は教育分野の交
流から実行して行こうと言う
ことで、双方の意向が確認され
ました。これをうけて、昨年八
月、教育委員会、小・中学校で
教育分野交流調査の訪問団を
組織し、坂本町長の教育現場の
視点からの交流協議の促進と
二千年の古い時期に本町への
教育関係での受け入れを支援
する用意がある旨の親書を携
えて、長営回民族郷及び北京市
民族学校を訪問しました。



陽区内にあつて、天安門広場か
ら十五キロ、北京国際空港から
は十七キロの所に位置し、学校
敷地四万平米、鉄筋コンクリー
ト建校舎八千平米で、コン
ピュータ室や天文台など近代的
設備のある新しい学校です。在
校生は、千二百二十名で、九
学年制、いわゆる小中一貫校と
して運営されています。
郷庁を表敬訪問後、北京市民
族学校で教育分野交流の会談を
持ちました。今回は、学校長が
双方とも新しく替わられたこと
もあり、新進気鋭の肖汝校長(三
十一歳)先生から民族学校の紹
介、西伯小岸信校長並びに法中
石田校長がそれぞれの学校紹介

をしながらかん談しました。初対
面であることや言葉の問題も
ありましたが、国際交流員張鵬
さんの仲介で和やかに話し合
い、学校交流の促進については
相互に確認し合いました。
また、民族学校の先生や学生
の受け入れについては、具体的
な日程の確認はできませんで
したが、教育に関し、双方とも
熱心に意見交換を行い、交流を
深めました。
今後、早い機会に子ども達の
相互訪問交流が実現すること
を期待しています。

ホームステイ

今年もオハイオ州
立大学から10名、ハ
ンリム大学から10名
の学生の皆さんが西
伯町を訪れ、ホーム
ステイの家族や保育
園児、小中学生また、
協会会員の方たちと
交流を深めました。



オハイオ州立大学



ハンリム大学

善隣友好

2002年3月

No. 7

〒683-0351

鳥取県西伯郡西伯町大字法勝寺377-1

西伯町役場企画政策課内 ☎66-3111



最近、見学が許可されるようになった水師營
会见所

2008年オリンピックに向けて建設中の北京市朝陽区常営郷の
近代的マンション。



第五次訪中国 中国東北地方へ



去年10月22日から26日まで、私は西伯町第五次訪中国に随行して、中国の東北地方に旅行しました。

吉林省出身の私にとって、仕事の関係で半年ぶりに故郷に帰れるのはうれしいことですが、歴史の原因で日本人と一緒にその敏感な所に行くのはやっぱりちよつと複雑な気持ちでした。

長春のラストエンペラー、乃木將軍とステッセルの会談した水師營、日露戦争の激戦地であった二〇三高地：これらの今もって生々しく残されている歴史の証明と戦争のすさまじさを見て、私みたいな戦後に生まれた中国の若者にとつても、日本人にとつても、鳥肌がたつような見学だったと思います。しかも、それと同時に、戦争がない平和な世界であることの意義や重要性を実感しました。



呉 彤 (国際交流員)



かけ声はちがっても
つな引きに国境なし

バーベキューで話
もはずみます

たのしかった
バンブーダンス

ナイジェリア
からも来町

国際交流サロン 11ヶ国の人たちが緑水湖に集合

21世紀は人権の時代です。
国際交流も外国人との共生
連帯が大切です。ここに紹
介する鴨部の杉本良巳さん
訳「夜明けの蓮」は、解放
運動に立ち上がるさまを描
いた感動あふれる作品で
す。ぜひ読んでみて下さい。

西伯小学校 国際交流の今



ロシアのマルシェフさんに来ていた
だいて三年目。西伯小の子どもたち
はすっかり仲よし。



ハンリム大学生との交流。ハングル
文字の毛筆に挑戦。



キム・エーランさんからチョゴリの
着方を教わっています。

あとがき

人権がキーワードの二十一世紀が
やってきました。たぐさんの課題をか
かえるの世界的状況の中、今や私たち
は地球市民として共に考え行動し、共
に生きることが求められ、国際化時代
から地球時代へと移り変わりつつあり
ます。

国際感覚から地球感覚へ、異文化
理解から多文化共生へ。私は地球市
民として大切なことは何だろうか？と考
えたとき、多様な見方ができるとこ
ろ、相手を受け入れる柔軟な心をもち
、いつも広い視野にたつてグローバルに
物事を考え、いっ、姿勢をもつてい
います。

そして、私は昨年の夏イギリスの
ニューミールズ・ホテル・デイズをする機
会に恵まれました。たぐさんの驚きや
発見や感動があり、充実した7日間
を過ごしてきました。お世話になった
のは法中のA.L.T.だったコレット先生
宅。私は、彼女の家庭を通してイギリ
スを肌で知り感じ、また日本を見直
すきっかけになりました。中でも一番
印象に残ったのは次のことです。私は
一週間テレビのない生活をして、た
ぐに気づきませんでした。なぜだろ
う。それはコレット家にはいつも語ら
いがあり対話があったのです。話題は天
気のこと、買い物のこと、ボーイフレ
ンドのことなどたわいもないこと。し
かし、夫婦の会話、親子の会話にはう
らやましく、暖かい空気や信頼感
がありたくさんの笑ひがありました。
話す時も聞く時も、いつもアイコンタ
クト。

コレットファミリーは、家族と共に過
ごす時間とても大切にしていまし
た。たぐさんのことを教えられたすば
らしいウルン滞在記。コレットファミ
リーに深く感謝です。



青年海外協力隊で大活躍

能竹の大西淑子さん

ポーランドからの手紙

ジン・ドブリ！(ポーランド語で「こんにちは」)青年海外協力隊の日本語教師としてポーランド南部のタトラ山脈のふもとにあるノビタルグという町の高校で日本語を教えています。

「ポーランド」と聞いて、みなさんはどんなことを思い浮かべますか。多くの名曲を残したショパン、1980年代の「連帯」運動の中心人物ワレサ、ほかに天文学者のコペルニクスや現ローマ法王ヨハネ・パウロ2世もポーランド人ですし、第二次世界大戦中の最も悲劇的な場所の一つであるアウシュビッツ収容所もポーランドにあります。

大國に挟まれた地理的条件のせいもあって、時に悲惨な歴史を経てきた国ですが、それ以外にも北東部の湖沼地方や南部の山岳地方など美しい自然がたくさんある国でもあります。

国民の95%以上がカトリック教徒で、人々は日曜日に教会へ行き、祝祭日には伝統料理をつくって家族で過ごします。昨年いっしょにクリスマスを迎えたお宅では、イブの夕食にメインである鯉料理を含めて12種類の料理をつくりました。それらを少しずつ全部食べるのが慣わしだそうです。日本のおせち料理のようなものだと感じました。それから、ポーランド人の名前はほとんどカトリックの聖人の名前からつけられています。そして、例えば「マリアは7月22日」というふうに、

それらの名前はすべてカレンダーに書かれています。その「イミエニ」(名前の日)は、誕生日と同じくらい大切な日で、友人・家族を招いてごちそうしたり、カードを送りあったりします。

私が教えている高校の生徒たちは卒業後ほとんどが大学に進学します。マトウラと呼ばれる卒業資格試験に備えて、日本と同じように受験勉強をします。日本語は、自由選択の課外授業なので生徒数は少ないですが、彼らの関心は高くどんなことでも興味を持って勉強します。日本語のほかに、書道やおりがみをしたり、日本の料理をつくることもあります。ふだんは毎日授業の準備に時間を追われていますが、それだけやりがいのある仕事でもあります。あと一年半の任期中、彼らにもっと「日本」のことを知ってもらえるよう、活動を続けていきたいと思っています。



生徒たちと「お好み焼」の試食



英語



韓国語



中国語

第六回外国語スピーチ大会

西伯小六年 松本 梨菜

初めて出るスピーチ大会はドキドキした。自分達の出番がくると、ひやあせが出た。じゅんぎをして、いよいよ本番。

「ラララララララララ...」曲が流れると、心ぞうがはれつしうだった。遠藤さんの次は、いよいよ私。

「ティーン、インリョフチャデーン。」

やっと終わった。少し緊張がほぐれた。ドレミの歌が終り、次は自己紹介。

「ウオジャオ、ソンペン リーシャイリョウネンチー。」(私は松本梨菜です。)

大成こう。はく手がきた。すぐくうれしかった。スピーチをやってよかったな。と思った。もう一度小学生にもどれるなら、ぜったいワールド文化クラブに入りたいです。

(中国語でドレミの歌に挑戦)



英会話教室の劇「大きなカブ」



花で飾られたコレット家の玄関。お母さんの手作りです。さすが！



はじめての習字体験、なかなか上手です。指導はW先生でした。



お父さんといっしょ、ステキな親子です。New Millsの公園にて。

現在のALTステファニー先生と英会話教室の皆さん。クリスマスパーティーにて。



コレット先生の大親友宅で、手作りのお菓いで歓迎です。



1997、98年に法中で教えておられたマギー先生は、昨年、結婚されました。おしあわせに！(5月に彼といっしょに来町の予定です。)



鳥取短期大学で機織に挑戦。ナカナカむつかしい...



お別れの朝です。

ハンリム大学ホームステイ



ソバ打ち体験!! 上手に出来ました？



楽しいお食事タイムで〜す。



結構なお手前です。

善隣友好

2003年3月

No. 8

〒683-0351

鳥取県西伯郡西伯町大字法勝寺377-1

西伯町役場企画政策課内 ☎66-3111

私は週末に出かけて
いって、日常的な写真を撮る
ことが好きです。特になつか
しい雰囲気のあるモノクロの
写真にこっています。
ここにいくつか日本で撮影
した写真を紹介します。どう
ぞお楽しみ下さい。

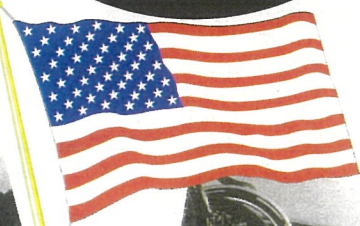
こんにちは

私はダゴベルト・ロベスで
す。
アメリカ カリフォルニア
州のロスアンジェルスから来
ました。
日本に来て3年7ヶ月にな
ります。
日本の人達はとても親
切なので、日本での生
活は楽しいです。
西伯町は、自然
が豊かで、美しい
大山や海も近く
とても気に入
っています。
私はもっと日
本の文化につ
いて学びたいし、日
本語も上手に話せ
るようになりた
いです。

ママと二人の兄弟です



カリフォルニアの青い空



久留米時代に撮った作品です。



「何はどこに行ってみたいの?」「あつ、それはここよ!!」
楽しい会話のある楽しい体験隊でのひとこま。



「今日は英語でお遊びしよう。」

夏休み英語体験隊

韓国に行つて、友達ができたし、
韓国のいろんなことが分かりまし
た。また、できれば韓国に
行つて、韓国の友達と出会
えたらいいです。



はじめは言葉が分からず大変
だったけど、ジェスチャーで
がんばりました。サッカーは、
テクニックもあり強かった。
ぼくの家でのホームステイも
楽しかったよ。又、
チャンスがあったら韓国
のスタジアムで試合がしたい
な!!



めざせ すてきな国際人

日韓サッカー交流



ようこそぼくの家へ。



韓国にて

あどがき

念願がかなってイタリア旅行をする事が出来ま
した。ローマ、フィレンツェ、ミラノ、どの街も全
体が美術館の様にすばらしく、感動の連続でした。
そして、最後の一日、少し疲れた私はホテルの回
りを散歩して、にぎやかなマーケットを見つ
けました。

道の両側いっぱい、八百屋さん、花屋さん、魚
屋さん、洋服屋さん、ハムやチーズのお店、陶器屋
さん、ありとあらゆるお店がぎっしりと1km程も
つづいているのです。クリスマスや年末の買い物
をする人でごったがえす中を、一軒一軒のぞき込
んで、みた事もない野菜や魚に驚き、十ユーロ均一の
セーターを物色し、かわいいクリスマス飾りもお
土産に買いました。トマトが欲しくて「セイ」(6
つ)と言ったら6個も計ろうとされてあわてたり
、気がつくとも疲れたままに帰ってしまいました。

よく見ていると、買物をする人もしない人も、店
のおじさんおばさん、どこも沢山おしゃべりを
しています。たつた一枚のお皿を買うにも「口角泡
を飛ばす」という感じなのです。何をそんなに聞
事があるのか、値切っているみたいでもないし不
思議でした。このお店でもそうそう、買い終ると店
の人もお客さんも「フーッ」という感じで、でも
とても満足そうなのです。イタリア語が分かれは
ない残念!

シニョレ、クワントコスタ? (おじさん、これ
いくら?) プレンド クエスト (これを頂きます)
位しか話せなくて、もどかしい思いでした。
対話をする事、おしゃべりを楽しむ事、もし
かしら、とっても豊かな事なのかもしれません。
コンビニで一言もしやべらず買物をする事が
出来たり、何
でも自動販
売機で買え
るのって便
利かもしれ
ないけど、何
か淋しい気
もしたりし
ます。(は)



ボッソフォートグラファール(写真とっても
いいですか?)というとても切りの笑顔が
返ってきました。

ハンリム大学生 との交流



見て下さい。この華麗な舞台を！

日本文化、未生流って難しい。

オハイオ州立大学生 との交流



保育園の子ども達にアメリカの歌を披露



粋な着物姿にうっとり

英会話教室の ハロウィーンパーティー



みんなで一品ずつ持ち寄って舌つづみ



ハロウィーンの気分を味わうには
かぼちゃと仮装が欠かせません。

第7回外国語 スピーチ大会



中国語ならお任せ
下さい。初出場です。



私はだれでしょう？



ハンリム大学生を迎えて

国際交流 の 一 年

みなさんへ
二〇〇一年八月、私がイングラ
ンドに戻った時、次に
何をするかは全然
考えていませ
んでした。長
い間、「先生に
はなりたくな
いわ。学
校って本
当に難し
い所だ
し、生徒
は行儀
悪いし」
と言って
いまし
た。でも
よく考
えてみ
ると、法
寺中学
校での生
活は本
に楽しい
ものでした。生徒
の進歩や成長
を見る事ができ、
又自分がその中
にいられてとても
幸せだった事に気

づいて、先生になるトレーニング
を受ける事に決めました。
二〇〇二年の九月からここ
シエフィールドで勉強を始め
ました。最初はとても恐かつ
たです。クラスには私のよう
に英語の先生を目指す三十二
人のメンバーがいます。彼ら
と話し合い、なぜ先生になり
たいかを聞くのは興味深い事
です。インランドでは、現
在先生の数が充分ではありません。
いろいろな理由があり
ますが、沢山の事務処理、生
徒の困ったふるまいやストレ
スが原因です。今の私には、
よく分かります。
十一月に千七百五十人もの
生徒がいる学校（法勝寺中と
は全然違う！）で七週間の教
育実習が始まりました。生徒
が行儀悪いのではないかと
とても心配しましたが、実際は
ほとんどの生徒達はすごくか
わいいし、彼らを理解する事
を楽しんでいます。彼らの事
がいつも理解できるなんて不
思議な気がします。
日本と同様に、先生になる
事の醍醐味は、生徒をよく理
解し、彼らが学ぶ姿を見られ
る事です。

教えるという事はとても大
変な仕事です。クラスがうま
くいかなくてどうしようと思
いながら家路につく日もあれ
ば、笑いながら帰るようなす
ばらしい日もあるのです。も
し日本でA.L.T.にならなかつ
たら、インランドで先生を
する事もなかったでしょう。
だから、私にもできる！と信
じてくれたすべての生徒
達に感謝しています。
コレットより 愛をこめて



す。
ご存知の方もいらっしゃる
と思いますが、現在私は東京
の明治学院大学で映画の研究
をしています。映画は子ども
のころから好きでしたが、大
人になってから、映画は人間
の考え方にどんな影響を与え
ているのか、という研究テー
マについて興味深く考えるよ
うになりました。研究上で映
画をたくさん見ることで、で
き、楽しい勉強です！
そして、東京で素敵な日系
人の彼氏ができ、一緒に楽し
い日々を過ごしています。し
かし、日本滞在も今年の六月
で終わります。アメリカに帰
国する前に一度西伯町を訪れ
たいと思っています。また西
伯町でお会いしましょう。
ローリーより



広島で大学院に通いながら妹と共同
生活をしています。



ことしはパパに！そして筑波大博士
課程で がんばるぞ！！



久しぶりに青砥さんや全さんと

よりよい国際化を目指して

南部町としてのスタートにあたって

南部町としてのスタートにあたって三月六日(土)に第一回の座談会が本町で開かれました。参加者は両町より三〇名でした。

座談会の中から

○予算について

・予算ありきの事業の進め方でなく、事業を見直し、必要な事業についての予算があれば良いと思う。

・協会で年会費が定められているが、会員の中にはほとんど活動されていない方がおられ、年会費をいただくのが難しい。

○教育について

・小学生など小さい頃から外国語を勉強して、将来は国際交流に関する仕事に就くような人が育ってほしい。

・小学校から中学校への国際交流に関する教育のつながりが無いような気がする。

○地域とのつながりについて

・地元の縫製工場に研修に来られている中国の研修生に気軽に声かけられるようになりたい。

・町内の企業に研修に来ている中国の方との交流は企業と行政のパイプがしっかりしてなければ、なかなか難しい。

○合併について

・合併という大きな節目なので、この機会に今までの事業を見つめ直し新町で活動したい。

・合併後は、現在まで両町で行ってきた活動で残せる物は残し、組織としては一つになれば良いと思う。

○今後の活動について

・西伯町は協会、会見町は協会設立準備会として活動してきたが、合併後は南部町国際交流協会という一つの組織として活動する。

・新協会発足は、平成十七年四月一日を目標に、事業の内容、会則等様々な協議をしていく。

藤原京子さんの講演から

「内なる国際交流の木」の話

江府町国際交流員 藤原 京子

国際交流はひとつの大きな森。そしてそのなかの一本一本が、職員の海外派遣、生徒同士の交流、ホームステイ、絵や作文展示交流、語学教室の開催などなどの国際交流という立派な木。

日本の国際交流の森は、どんどん大きくなって、どんどん増えてきてにぎやかでカラフルな森になってきています。

それぞれの市町村で、またはそれぞれの団体で自分たちに合った国際交流をすすめています。

国際交流イベントや催しなどを、みな

さんも一度はテレビや新聞で目にしたことでしょうか。いろいろな問題などを抱えても、地道に、辛抱強くつづけている姿には、自分ができるわずかなことでも力になりたいと思います。

そして国際交流の木の中には「内なる国際交流」という木があります。

小さく地味な木かもしれませんが、どんな木なのか少しだけお話をします。

グローバル時代、国際化時代などとうたわれてもう久しく、それに合わせるかのように外国からの研修生や結婚などで日本に来られる方も増えていきます。

研修生たちにおいては、企業規約や企業主の配慮など、日本で生活することにはさほど困りはないと聞きます。が、結婚などできた人は大概がひとりぼっちの場合が多く、寂しさと言葉の壁、日本文化やしきたりなどになじみず、結局、いい印象をもてないまま国へ帰ってしまうケースが発生しているのも現実です。

そこでまず、彼女たちが地域の一員になる手助けとして、声かけ、催しやお茶会への誘いなどからはじめます。一人の力では余る問題でもグループでの取り組みになると、自然とネットワークが形成されることでしょうか。

少しずつ打ち解けてもらい、彼女たちの国の料理や文化、言葉などを教えてもらったりするなかでお互い理解し合い、どんどん共に育っていく面白い木です。

内なる国際交流の木は、少しずつできることから始め、年月を重ねていけば、きっと綺麗な花を咲かせる木になるでしょう。



う。

ホストファミリー募集のお知らせ

○韓国ハナム大学生生ホームステイ
期間 七月十二日(月)～
二十三日(木)

ホームステイ参加学生 十名

募集世帯数 十世帯

※詳しくは役場企画政策課まで

四六六一三一一三

あどがき

今年のさくらは例年になくきれいで、たくさんの方に来町していただきました。五月に入り田植えの準備に忙しくなっています。

恒例のホームステイ事業には、十月から一緒に南部町になる会見町の方々にも協力していただき、五名のホストファミリー参加をしていただきました。

今月は、米国オハイオ州立大学、七月には韓国ハナム大学と続きますが、皆さんの協力を得ながら、国際交流協会を主体として、積極的に取り組んで行きたいと考えています。よろしくお願いします。

私ことですが、オペラを聞くのが好きで、原語で分かるようにと思いイタリア語を習いましたが、長続きせず現在に至っています。スピーチ大会で皆さんの楽しい会話を聞いて、また始めようかなと思っています。

(森岡)

善隣友好

2004年3月

No. 9

〒683-0351

鳥取県西伯郡西伯町大字法勝寺377-1

西伯町役場企画政策課内 ☎66-3111

Hello! My name is Kim Kovacs.

コバックス・キムです。カナダのサスカチュワン州から来ました。2003年の2学期から、外国語指導助手として西伯小学校で働いています。3年生から6年生までの児童は、各学級で、週に一回、英語活動の授業に参加します。歌、ゲームや色々な活動を楽しみながら、日本文化や異文化に興味を持ち、英語に親しめることができればと考えています。

私にとって、子ども達と一緒に過ごす時間はとても楽しいです。子ども達は明るくて、好奇心がいつぱいあるので、一緒にいると私はまたがう世界を子どもの目で見ることが出来ます。その世界は素晴らしい、魅力的な世界です。子ども達にとっても感謝してきます！授業はもちろん楽しいですが、休憩時間も数人の子どもたちと色々なおもしろい遊びをしたりするので楽しみにしています。これからよろしくお願ひします！

こんにちは



よろしくおねがいます

キンバリーです



こんにちは、コリン・トムスンです。法中の英語教師をしています。もう2年になります。今までもとても素晴らしい経験をしてきました。生徒たちとも、とても親しくなれましたし、教えるだけでなく教えられる事もたくさんあります。私の知ってる外国の知識や文化を分け合い生徒達は私に日本語や日本の文化を教えてください。そして、もちろん、彼らの英語の上達ぶりを見ることは、とても幸せな事です。時には、生徒達が廊下で英語の会話をしているのを聞く事もあり、とても誇らしくなります。

西伯町での暮らしとても楽しいものです。私の故郷ロサンゼルスは大きな街です。ので、田舎での経験はとってもいいものです。景色はいいし、人々も親切です。西伯町と法勝寺中学校での残りの一年がすばらしい年になるよう楽しみにしています。

ポーランドめやげ話

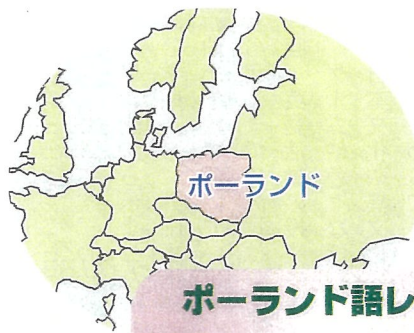
「青年海外協力隊」の活動から



でした。ときには生徒たちと教室で日本料理をつくってみたり、日本語の学習発表会をしたりしたことは良い思い出です。

日本からは遠く離れた国ですが、実際に生活してみても現地の人たちと知り合った今、ポーランドは私にとってとても身近な国になりました。ここで培った友情はいつまでも大切にしたいですし、もっとたくさんの人たちにこのような経験をさせていただけたらと思います。

(大西 淑子さん)



ポーランド語レッスン

こんにちは ジェンドブリイ (Dzień dobry)
さようなら ドヴィゼニヤ (Do widzenia)
ありがとう ジェンクイエ (Dziękuję)



私は韓国から日本に嫁いできて11年になりますが、私が日本人、特に若い人達について思うことがあります。それは自分の国、言葉について、あまりにも無関心すぎるのではないかと思います。

親も社会も、国の事を子ども達に小さい頃からしっかりと教育すべきだと思います。今の日本の子ども達の中で日本の国歌をきちんと覚えて歌える人、歌詞の意味を知っている人がどれだけのいるのでしょうか。韓国では小学校に入ると一番先に学ぶのは、国の花、それから国歌を学びます。国歌は4節もありますけど、すべて覚えて歌えるようにします。それで国歌をいつも歌うことによって自分は韓国の国民であること、この歌と一緒に歌う人は皆、同じ民族

自分の国と言葉に誇りを持って

であることをしっかりと認識して身につけていきます。

日本で最近、国旗、国歌が法律で定められたのを私はいろんな意味ですごく喜んでいました。

私は小さい頃から、親から聞かされて日本に対する先入観を持っていますが、自分の子どもに対しては、まず、自分達が生まれた日本、祖国を愛するように教えています。

また国の言葉、日本語を大事にしてほしいと思います。最近、必要以上にカタカナ言葉が多くなって本来の日本語が少なくなっているように思えます。

地域、学校レベルでも国際交流が盛んに行われるようになりましたが、自分の国の事がよく分らない人達が、どうして他の国と本当の意味での国際交流ができるのでしょうか。

日本の若い人達は、もともと自分の国と言葉を愛し、誇りを持ってほしいと思います。

(安来市国際アドバイザー
上山根 鳳禮さん)

外国語スピーチ大会

ふりかえって

第1回目



第2回目



第6回目



第7回目



第8回目



第3回目



第4回目



第5回目



平成9年1月
からスタート
しました。

出場者の声

外国語スピーチ大会は金玄珠先生に習っていた年に始まり、韓国語からは5名が登壇しました。私はチギョン社の絵本から「蛙と牛」の話を取り上げ感想を述べました。翻訳者の金先生を悩ませたのは、その感想の部分でした。三通りも四通りも言い直して理解してもらい、ようやく韓国語の文字(台本)になりました。漸家が内弟子になり、師匠から口うつしに江戸言葉を教え込まれるように、スピーチには特別な訓練がいります。発音の長短・清音と濁音・消える音と変わる音など、回を重ねて参加するうちに少しずつ分かってきました。辞典を引くことを楽しんで行きたいと思っています。

(中田 俊夫さん)

十月に新しい「南部町」を目指すわが西伯町の国際交流協会主催「第8回外国語スピーチ発表会、異文化交流会」が開催されました。

二月十一日、会場の大国田園スクエアには西伯町最後の会にふさわしく、小学生から高齢者まで各種のグループや個人と、これを指導する外国の講師で満員の盛況でした。

発表は英語、フランス語、中国語、韓国語で歌、朗読、会話、劇と多彩で、いきなり本番の行き違いや、困ったり笑ったりでとても盛り上がりました。

小学生は「世界の国からこんにちは」と各国のあいさつを盛り込んだ楽しい語り、英語の歌、中国語教室は中国から老人保健施設で研修中の女性二人を加えた中国語の会話、縫製工場で研修中の中国女性三人と西伯小学校英語指導助手の日本語の自己紹介等もありました。

「西伯のこぼれはなし」は韓国語、英語、日本語の見事な連携発表でした。英会話教室の「手品」もおもしろいとい会場がわきました。最後に英語、中国語、韓国語と助言者のコメントがありました。なかでも安来市国際交流員、金鳳礼さんの言葉は文字どおり「目からうろこ」の感を深くしました。

先生は子どもに韓国語を教えておられるそうですが、「最近の日本語の乱れは、文法的には考えられないものが多い。すばらしい日本語を取り戻さないとけない」と冷静な言葉で感想を述べられました。

国際化と言葉、この度の発表会の成果を大きく期待すると同時に私たちは日本語について家庭、学校、社会で各人がもつ意識し、正す責任があると誓った建国記念の日でした。

(桑名 勇さん)